

がんばろう 日本!
KIZUNA

LIBERAL&DEMOCRATIC
自由民主
http://www.jimin.jp/

自由民主

地域包括ケアシステム

—実現に向けての予算措置と情報共有が課題—

地域包括ケアシステムの実現に向けて、区役所における推進体制のあり方と保健所機能の強化の取組が示されました。現行の医療・介護ニーズを把握しつつ、将来的な対策を講じていかなければなりません。来年度から本市の中学校区単位で顔が見える仕組みを目指す方向性が示されていますが、行政と地域の役割分担とその予算的措置、また、医師・看護師・介護士・地域の方々などの情報共有が課題として指摘されていますが、ICT等を活用したクラウド利用による情報の一元化等について質問致しました。

妊産婦産科検診の早期実現を迫る

かねてより口腔衛生の必要性を訴えるとともに各種歯科検診事業(休日・高齢者・障害者)の拡充と妊産婦産科検診の実現を市に求めて参りました。とりわけ妊産婦産科検診については本年度から岡山市で実施されたことに伴い、政令市において未実施は本市のみとなっています。実現に向けた障壁を取り除くとともに改めて市に対して早期実施を求めました。



市長への
要望
について

来年度の予算編成に向けて自由民主党川崎市議会議員団として市長に要望活動を行いました。今回の要望では地域包括ケアシステムや地域医療連携等を盛り込むほか、多摩川サイクリングロードの整備や等々力緑地内高度処理施設上部の早期開放等の地元要望についても市に対応を求めました。

行政水準の維持向上か 問われる市長の手腕 納税者の負担抑制か、

わが国の医療保険制度の一翼を担う国民健康保険制度については本市を含む各自治体が保険者となりますが、被保険者の年齢や所得階層等に偏りが見られることから慢性的な赤字が生れやすく、保険料の未取分は一般会計からの繰入金により処理がされています。本市においても年々取納率の改善は図られて

保険料の取納率は改善するも 未だ多額の繰入金が必要

きたものの、その額は決して小さいものではありません。一般会計からの繰入金の中にも赤字補填の不正受給、架空請求などの対応、また、平成30年度以降はその運営が都道府県単位の繰入金に依存することによる本市への影響等について質問を致しました。



本市のイメージ向上に向けた戦略的な情報発信

イメージと市民が抱くイメージの乖離の観点から本市のイメージ向上に結び付くような戦略的な情報発信が求められています。本市が目指すイメージと広報戦略について質問を致しました。

信頼される 市立病院の運営

医療機能の再編と 医師・看護師等の確保が急務

民間に出来るものは民間に、との民間参入に不採算部門を担わざるを得ない宿命を背負いつつ、赤字部門の整理を求められるという二律背反的な壁を克服する為の創意工夫が求められています。

『新たな総合計画』第1期実施計画案

平成27年度に公表された新たな総合計画案案に対して寄せられた様々な意見をもとに検討が重ねられた結果、このたび、平成29年度迄を計画期間とする具体的な取組を含む『新たな総合計画』第1期実施計画案案がまとめられました。今回の実施計画の中では、中長期的・重点的な取組が明確化されたほか、政策体系別計画(区計画)における2年間の具体的な取組が明らかとなり、また、実施計画の上位概念に相当する基本構想及び基本計画については今定例会に議案として上程され審議が行われましたので、その主要内容を先記に紹介致します。

等を含む計52本の議案審査が行われました。また、『新たな総合計画』第1期実施計画案案(案案)、今後の財政運営の基本的な考え方(案案)、行政改革に関する計画を改正する条例の制定について、(案案)、『区役所改革の基本方針案案』等が公表され、併せて審議されることになりました。

必要量の改革は推進しながらも質的改善(手法の転換を図るとされた今後の行政改革において)が客観的な評価指標を求めて参りましたが、このたびの案案の中では市民満足度の向上が目標に掲げられました。

当面の目標年度となる平成29年度における目標値が示されている内容からは断固たる決意を以て改革に臨む市の覚悟が伝わって来ません。目標年度を明確に示すとともに財政的効果が見込めるものについてはその目標効果額を明示した上で年度ごと(とその成果をいかに検証していくべき)はなにかと市の対応を求めました。

また、案案の第四案には各局等改革実施プログラムが具体的に列挙されていますが、以下の内容等について質問を致しました。

(一)高齢期雇用・障害者雇用等における具体的な目標額の設定について
(二)昨今の情勢を踏まえた民間福祉施設等の監査指導体制の整備について
(三)重度障害者医療費助成の継続について
(四)高齢者外出支援乗車事業制度や高齢者に対する市単独事業の再編について
(五)福利厚生事業の見直し、職員互助会に対する補助金の削減について

平成27年
第5回
川崎市議会定例会
12月議会
ご報告

行政改革に関する計画案案について

財政的な目標効果額を明示した上で年度ごとに検証を

平成27年度 自民党市議団の構成

川崎区				幸区		中原区				高津区			宮前区		多摩区		麻生区	
環境委員会 元市議会議長	市民委員会 元市議会議長	まちづくり委員会 議運委員長	健康福祉委員会 元市議会議長	環境委員会	市民委員会	まちづくり委員会 まちづくり副委員長	総務委員会	環境委員会 元市議会議長	健康福祉委員会 健康福祉委員長	まちづくり委員会	まちづくり委員会 現市議会議長	総務委員会 前市議会議長	健康福祉委員会	健康福祉委員会 市議団団長	総務委員会 総務副委員長 市議団副団長	市民委員会 市民委員長	総務委員会 市議団副団長	市民委員会